

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催
第9回 Documentary Linguistics Workshop (DocLing2016) 募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA 研)は、2007 年度から Documentary Linguistics Workshop (DocLing)を開催しています。このたび、2016 年 2 月に開催する第 9 回のワークショップの受講生を下記の要領で募集します。なお、このワークショップは文部科学省特別経費による「言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開(略称: LingDy2)」の事業の一つとして開催されるものです。

記

1. 開催期間 平成 28 年 2 月 8 日(月)～2 月 13 日(土)の 6 日間
2. プログラム 危機言語および少数言語の記録・保存(ドキュメンテーション、アーカイビング)に焦点をあてたワークショップです。言語ドキュメンテーションに関する教育を行う団体 EL Training (<http://www.el-training.org/>) からこの分野を代表する研究者を講師に迎え、本研究所のスタッフと共に日本の記述言語学分野の若手研究者に言語ドキュメンテーションの理論と実践をレクチャーします。言語ドキュメンテーションとはどのようなものか、言語データのアーカイビングとはどのようなものか、録音の方法論とノウハウ、写真の撮影方法、メタデータとメタドキュメンテーション、フィールド調査にかかわる諸問題等の内容を扱う予定です。プログラムの詳細は、追って下記ウェブページに掲載します:

<http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling.html>

講師: Peter K. Austin (SOAS, University of London; Visiting Research Professor,
University of Hong Kong),
David Nathan (Centre for Australian Languages and Linguistics,
Batchelor Institute of Indigenous Tertiary Education),
Anthony Jukes (AA 研共同研究員),
ほか

使用言語:ワークショップはすべて英語で行われます。通訳はありません。

3. 開催場所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
(東京都府中市朝日町 3-11-1)
4. 応募資格 フィールドでの言語調査や言語の記録・保存を行なっている、あるいはこれから行なおうとしている学生(原則として博士前期課程以上)および研究者
5. 選考方法 応募者多数の場合は、8.の応募フォームをもとに選考します。
6. 募集人員 10 名前後
7. 参加費 受講料は無料ですが、別途教科書を購入していただく場合があります。また茶菓代として 500 円いただきます。

8. 応募方法 オンラインフォーム(<https://goo.gl/UfXdIR>)から応募してください。応募が完了すると受領確認メールが自動返信されます。このメールが届かない場合は、12. 問合せ先 までお問い合わせください。
9. 応募締切 平成 27 年 11 月 30 日(月) 日本時間正午(必着)
10. 選考決定 受講の可否は、平成 27 年 12 月中旬に本人あてに通知します。
11. その他 ①ワークショップ開催期間中の宿泊場所は、受講者各自で手配してください。
(お問い合わせいただければ近隣のホテルをご紹介します。)
②旅費は支給されません。
12. 問合せ先 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開(LingDy2)
事務局
Email: lingdy-office@aacore.net
Tel: 042-330-5543

*過去のワークショップで扱った内容の詳細は、次の URL をご覧ください。
Web ページ: <http://lingdy.aacore.jp/jp/annual-report/docling-2.html>